



かわにし 70 年

なつかしの写真展

ー川西市制 70 周年プロジェクトー

川西市は 2024 年に市制 70 年を迎えます。

川西市が市民にとって「大切なまち」であり続けることを目的とし、100 周年のミライを見据え「笑顔つづくミライへ。」をテーマに様々な事業を実施します。「なつかしの写真展」では、市制 70 周年を記念して川西の過去を振り返る写真展を年間通して市内の様々な場所で開催します。当時の人々の暮らしや街の様子などの貴重な歴史・文化を記録し、未来に向けて後世に伝えます。

ー市制施行ー

川西市は昭和 29 年（1954）8 月 1 日に川西町・多田村・東谷村の 1 町 2 村の合併のより市制施行

市制施行当時の人口は 33,741 人、世帯数は 7,490 世帯であった。

ー川西市の歩みー

市制施行後、旧多田村や旧東谷村の田畑や丘陵地の宅地開発が進み、多田グリーンハイツや大和や清和台などの住宅団地を始め、学校や商業施設の開発により次々と新しいまちが誕生しはじめます。宅地開発の活性化に伴い市街地の水源確保を目的に年には昭和 57 年（1982）に一庫ダムが完成しました。

ー多田神社ー

今より千年以上前、天禄元年（970）に源満仲公により創建され、清和源氏の祖とされる源満仲公を始め、源頼光、源頼信、源頼義、源義家の五公をお祀りしている歴史ある神社です。

元々は天台宗の寺院として建立されましたが、明治初期の神仏分離令により仏舎が廃され「多田神社」となりました。

また、多田神社はその神域一帯を昭和 36 年（1961）に国の史跡に指定され、境内地下には旧多田院時代の伽藍遺構が残ると共に、入母屋造りの本殿・拝殿と切妻造りの随神門は昭和 41 年（1966）に国の重要文化財としての指定を受けています。他の建造物、南大門・東西の高麗門・六所宮・巖島神社等も兵庫県の重要文化財の指定を受けています。

展示している写真（多田神社提供）はいずれも大正期に撮影されたもので、「神事南無手踊り（なむておどり）」は江戸時代前期に当時の多田院別当智栄が幕府へ多田院再建を願い出て、それが認められ徳川四代将軍家綱公により多田院再建が始められました。その後、元禄 9 年（1696）には多田満仲公 700 回忌にあたり別当尊光により盛大に祭礼が行われました。「南無手踊り」はその時に披露されたとされています。

多田神社前の御社橋（朱橋）は、昭和 16 年（1941）以降にかけられたもので、以前は板を渡した簡易的な橋がかけられているだけだったという。

ー清和源氏発祥の地川西市ー

その歴史は古く、平安時代の天禄元年（970）、清和天皇のひ孫にあたる源満仲公は、京から武士団を率いて多田盆地に移住し、ここを本拠地として開拓を始めた。

満仲公が開いた多田荘は、現在の川西市・猪名川町・能勢町・宝塚市・三田市にまたがる広大な領地を有したという。

伝承によると、満仲公は構築にあたり信仰する住吉大社（現・大阪市住吉区）より、「矢を放ち、落ちた地こそがふさわしい」と神託を受け、住吉から北方へ向けて鎬矢を射た。この矢が落ちた場所を訪ね歩いていると、山中で白髪の翁に出会い満仲公は矢の落ちた場所を問うた。これが川西の『矢問』の地名の由来であるという。

満仲公が放った矢は、悪行を働きこの地の村民を悩ませる『九頭の大蛇』に命中し大蛇は沼から逃げ出すものの、ついに力尽き命を落しました。

満仲公はこの地こそ住吉明神が示した地であるとして居城を築こうと決意し、九頭大蛇の首を切って祠を建て、九頭明神と名付けて城門の守護神とした。また、九頭大蛇が減びるとその住処であった沼は丘に変じ、数多くの田ができたことから『多田』の地名がついたとも伝えている。この九頭大蛇は現在でも、東多田の『九頭大明神』として祀られています。

また、このとき満仲公は矢が落ちた場所を探し当てた翁へ三ツ矢の姓と、三本の矢羽の紋を与えたといわれ、これが後の『三ツ矢サイダー』のルーツとなっている。その後、満仲公の後継者たちは源氏をさらに発展させた。

長男の頼光公は武勇にすぐれ、家臣で頼光四天王と呼ばれる渡辺綱、坂田金時、碓井真光、卜部季武を引き連れ、大江山の酒吞童子や土蜘蛛を退治した伝説で知られる。家臣の活躍は、謡曲や昔話の題材としても名高い。

頼光公は多田荘を相続し摂津源氏の祖となり、また、三男の頼信公は河内源氏の祖として長く繁栄し、その子孫に頼義ー義家ー義親ー為義ー義朝と系譜が続き、鎌倉幕府初代将軍として名高い源頼朝、壇ノ浦の戦いの最大の功労者である源義経へとつながっていく。

開催場所・期間（予定）：

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①川西市役所（屋内） | 1 月中旬～ 12 月下旬 |
| ②多田神社（屋外） | 3 月初旬～ 4 月中旬 |
| ③キセラ川西プラザ（屋外） | 4 月初旬～ 12 月下旬 |
| ④川西市立ギャラリーかわにし（屋内） | 7 月 31 日～ 8 月 12 日 |
| ⑤けやき坂中央公園（屋外） | 9 月初旬～ 10 月中旬 |
| ⑥川西市郷土館（屋外） | 10 月中旬～ 11 月下旬 |



なつかしの写真展 市 HP

川西市 70 周年事業 特設 HP



■いずれも鑑賞無料になります。 ■開催場所や期間は現状の予定となりますので、変更する可能性があります。

■詳しい開催場所や期間・時間等については、市 HP（右記の二次元コード）から発信しますので、ご確認ください。

主催：川西市 問い合わせ先：川西市市長公室 市制 70 周年記念事業事務局 072-740-2034（直通）